

豊作の秋を目前に控え、JAあきた白神カントリーエレベーターで、8月22日と23日の2日間にわたり、農業機械展示会「秋のふれあい感謝デー」が開催されました。

会場には、メーカー自慢のコンバインやトラクター、草刈り機など様々な農業機械が並び、農業機械の買い替えや備品の購入を目当てに多くの農家が来場し、担当者からの説明を聞いて目当ての農機具を購入していききました。また、農作業事故予防に向け作業安全講習会も開催され、参加者は出来秋を控え作業点検内容を確認していました。



各メーカー自慢の機械が集結
農業機械展示会を開催



▲メーカーによる作業安全講習会を受ける生産者

JA大豆生産組合が圃場巡回を実施
収穫期を前に各圃場の生育を確認



▲各圃場の生育状況を確認しあう生産者

JA大豆生産組合（高橋信男部長）は、大豆の生育を確認し今後の栽培管理について検討する、大豆圃場巡回を8月22日に実施しました。

当日は生産者やJA関係者など約20名が参加し、圃場6か所を巡回視察しました。担当者は「播種、開花時期は平年より早かったが、中耕培土の作業時期と降雨日が重なるなどの影響で雑草の発生が目立つ圃場がある。今後は排水対策を徹底し、停滞水が発生しないようにすると共に、マメシンクイガや紫斑病など、病虫害の発生時期となるため防除に努めてほしい。」と呼びかけ、栽培管理について情報交換を行っていました。



年金制度への理解を深めてもらう
老後設計の手助けとして年金相談会を開催



▲担当者に年金制度の疑問点を相談する参加者

年金の仕組みや受給にあたっての具体的な手続きの相談の場として、JAは9月6日と7日の2日間、能代市工業団地交流会館とJA二ツ井支店で年金相談会を開催しました。

相談会では、社会保険労務士の宇代謙治さんと農林中央金庫の近江常彦さんを講師に招いて相談に対応。参加者からの「年金を申請するためには何が必要か教えてほしい」などの相談に、丁寧に説明やアドバイスを行い疑問点を解消していききました。

JAでは本店・各支店で年金相談を受け付けておりますので、ご不明な点やご相談がある方は、ぜひ窓口までお越しください。

